



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 保土谷化学工業株式会社

コード番号 4112 URL <http://www.hodogaya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 喜多野 利和

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長

(氏名) 富山 裕光

TEL 03-5299-8019

四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日

配当支払開始予定日

平成25年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	17,135	1.9	60	△58.4	△98	—	△311	—
25年3月期第2四半期	16,811	△2.1	145	△67.9	△65	—	△1,143	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 695百万円 (—%) 25年3月期第2四半期 △752百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△3.94	—
25年3月期第2四半期	△14.46	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	51,933	29,732	53.2
25年3月期	51,765	29,236	53.0

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 27,654百万円 25年3月期 27,456百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
26年3月期	—	2.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,000	2.3	1,000	11.3	500	△18.2	100	—	1.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 日本パーオキサイド株式会社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	84,137,261 株	25年3月期	84,137,261 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	5,044,099 株	25年3月期	5,035,247 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	79,098,661 株	25年3月期2Q	79,106,356 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、異なる結果となる可能性があります。
なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔機能性色素セグメント〕

イメージング材料事業は、プリンター・複写機向け材料の在庫調整が進んだことに加え、円安効果もあり、増収となりました。

色素材料事業は、新たに上市したカラートリートメント用染料の寄与があったことに加え、アルミ着色用染料で、国内外の在庫調整にも進展が見られましたが、小型デジタル家電向けの低調が続き、減収となりました。

有機EL材料事業は、競争激化の中、減収となりました。
以上の結果、当セグメントの売上高は、45億81百万円となり、前年同期比26百万円(0.6%)の減収、となりました。

〔機能性樹脂セグメント〕

樹脂材料事業では、PTG(ウレタン原料)が、国内需要が堅調なことに加え、円安効果から、輸出で大きく伸び、

また、接着剤も海外での需要が大きく伸びたことから、増収となりました。

建築材料事業は、材料販売で、ウレタン系防水材分野の新規顧客獲得もあり、微増となりましたが、防水工事では、大型物件の獲得が伸び悩み、前年同期並みとなりました。

特殊化学品事業は、樹脂関連・医薬品・受託分野のいずれも需要が好調で、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、60億1百万円となり、前年同期比2億48百万円(4.3%)の増収、となりました。

〔基礎化学品セグメント〕

過酸化水素は、主力の紙パルプ分野で、円安により一部需要が回復し、

また、工業薬品向けも好調に推移しましたが、動物用医薬品の需要が減少したことにより、前年同期並みとなりました。

その他の過酸化水素誘導品は、競争の激化により、微減となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、34億60百万円となり、前年同期比1億40百万円(3.9%)の減収、となりました。

〔アグロサイエンスセグメント〕

アグロサイエンス事業は、家庭園芸用除草剤が好調に推移したことにより、増収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は、22億13百万円となり、前年同期比1億41百万円(6.8%)の増収、となりました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、171億35百万円となりました。

また、損益面では、営業利益は60百万円を確保いたしましたが、経常損失は98百万円、四半期純損失は、3億11百万円、となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末(9月末)における資産合計は、519億33百万円となり、前連結会計年度末(3月末)比1億68百万円の増加となりました。

その主な要因は、投資有価証券の増加9億58百万円、有形固定資産の増加8億85百万円、受取手形及び売掛金の減少14億94百万円、商品及び製品の減少3億24百万円等であります。

負債合計は、222億円となり、前連結会計年度末比3億28百万円の減少となりました。

その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少5億85百万円、未払法人税等の減少2億17百万円、短期・長期借入金の増加6億16百万円等であります。

純資産合計は、297億32百万円となり、前連結会計年度末比4億96百万円の増加となりました。

その主な要因は、その他有価証券評価差額金の増加4億3百万円等であります。

以上の結果、自己資本比率は53.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月13日に発表した平成26年3月期の業績予想に、変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結累計期間において、当社を吸収合併存続会社とし、日本パーオキサイド株式会社を吸収合併消滅会社とする吸収合併を、平成25年7月1日付で行いました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。
なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

一部の連結子会社は、仕掛品、商品及び製品の評価方法について、従来、移動平均法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、総平均法に変更いたしました。

この変更は、当該子会社における基幹システムの再構築を契機に、当社と同様の評価方法を採用し、在庫評価と原価計算を、より効率的に行うことを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

一部の連結子会社は、有形固定資産の減価償却方法について、従来、主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更いたしました。

この変更は、連結子会社である日本パーオキサイド株式会社が、平成25年7月1日に当社と合併することを契機に、有形固定資産の使用状況を検討した結果、安定した稼働状況が見込まれるため、定額法を採用することが、より合理的であると判断したものであります。
なお、これにより当第2四半期連結累計期間の営業利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ95百万円増加し、経常損失は95百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,408	5,907
受取手形及び売掛金	11,420	9,925
商品及び製品	3,859	3,534
仕掛品	181	213
原材料及び貯蔵品	1,384	1,533
繰延税金資産	129	47
その他	703	515
貸倒引当金	△29	△20
流動資産合計	23,057	21,657
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,781	7,199
土地	11,238	11,243
その他(純額)	4,989	5,450
有形固定資産合計	23,009	23,894
無形固定資産		
のれん	1,404	1,175
その他	483	580
無形固定資産合計	1,888	1,755
投資その他の資産		
投資有価証券	3,287	4,245
長期貸付金	32	53
繰延税金資産	2	1
その他	662	500
貸倒引当金	△174	△174
投資その他の資産合計	3,810	4,626
固定資産合計	28,707	30,276
資産合計	51,765	51,933

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,539	3,954
短期借入金	7,265	6,862
未払法人税等	283	66
引当金	446	401
その他	1,945	1,627
流動負債合計	14,480	12,911
固定負債		
長期借入金	4,768	5,788
繰延税金負債	1,090	1,338
再評価に係る繰延税金負債	1,428	1,428
引当金	217	193
資産除去債務	51	54
その他	491	485
固定負債合計	8,048	9,288
負債合計	22,528	22,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,196	11,196
資本剰余金	9,590	9,590
利益剰余金	5,358	4,888
自己株式	△1,691	△1,693
株主資本合計	24,453	23,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	113	517
繰延ヘッジ損益	△10	△5
土地再評価差額金	2,583	2,583
為替換算調整勘定	315	577
その他の包括利益累計額合計	3,002	3,672
新株予約権	72	40
少数株主持分	1,707	2,038
純資産合計	29,236	29,732
負債純資産合計	51,765	51,933

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	16,811	17,135
売上原価	11,994	11,880
売上総利益	4,817	5,255
販売費及び一般管理費	4,672	5,194
営業利益	145	60
営業外収益		
受取利息	12	16
受取配当金	40	70
固定資産賃貸料	46	34
雑収入	90	78
営業外収益合計	189	200
営業外費用		
支払利息	97	85
退職給付費用	153	153
雑損失	149	120
営業外費用合計	400	359
経常損失(△)	△65	△98
特別利益		
固定資産売却益	18	—
投資有価証券売却益	—	12
災害損失引当金戻入額	4	—
新株予約権戻入益	—	40
補助金収入	108	14
受取補償金	—	149
その他	10	—
特別利益合計	142	218
特別損失		
固定資産除却損	5	22
投資有価証券評価損	179	29
関係会社株式評価損	381	—
ゴルフ会員権評価損	—	15
災害による損失	0	—
本社移転費用	21	—
その他	30	0
特別損失合計	618	67
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△542	51
法人税等	485	190
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,027	△138
少数株主利益	116	173
四半期純損失(△)	△1,143	△311

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,027	△138
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	204	403
繰延ヘッジ損益	2	5
為替換算調整勘定	69	424
その他の包括利益合計	275	833
四半期包括利益	△752	695
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△891	358
少数株主に係る四半期包括利益	139	337

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△542	51
減価償却費	819	790
のれん償却額	268	310
引当金の増減額(△は減少)	95	91
受取利息及び受取配当金	△53	△87
支払利息	97	85
為替差損益(△は益)	0	△14
有形固定資産売却損益(△は益)	△18	—
固定資産除却損	5	12
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△12
投資有価証券評価損益(△は益)	179	29
関係会社株式評価損	381	—
ゴルフ会員権評価損	—	15
受取補償金	—	△149
売上債権の増減額(△は増加)	1,415	1,518
たな卸資産の増減額(△は増加)	△413	181
仕入債務の増減額(△は減少)	△551	△606
その他の資産・負債の増減額	45	△136
未払消費税等の増減額(△は減少)	132	△5
その他	38	△37
小計	1,899	2,038
利息及び配当金の受取額	46	91
利息の支払額	△96	△88
補償金の受取額	—	149
損害賠償金の支払額	—	△10
法人税等の支払額	△147	△312
法人税等の還付額	—	65
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,702	1,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△46	△53
定期預金の払戻による収入	138	63
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,087	△1,598
有形及び無形固定資産の売却による収入	23	17
資産除去債務の履行による支出	△24	—
投資有価証券の取得による支出	△50	△374
投資有価証券の売却による収入	4	—
貸付けによる支出	△6	△21
貸付金の回収による収入	2	15
差入保証金の差入による支出	△37	△57
差入保証金の回収による収入	155	28
その他	△1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△927	△1,981

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△150	△144
長期借入れによる収入	1,891	1,920
長期借入金の返済による支出	△883	△1,160
社債の償還による支出	△69	—
配当金の支払額	△314	△157
少数株主への配当金の支払額	△86	△5
自己株式の売却による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1	△1
リース債務の返済による支出	△12	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	373	436
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,167	505
現金及び現金同等物の期首残高	6,557	5,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,725	5,826

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1)外部顧客に 対する売上高	4,607	5,753	3,600	2,071	16,032	779	16,811	—	16,811
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	165	43	43	—	252	359	612	△612	—
計	4,772	5,797	3,644	2,071	16,285	1,138	17,424	△612	16,811
セグメント利益 又は損失(△)	81	110	115	△191	115	146	262	△117	145

(注1) 各セグメントの主な製品

(1)機能性色素・・・有機EL材料、トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、各種染料等

(2)機能性樹脂・・・ウレタン原料、一般化学工業用基礎原料、
ウレタン系及びセメント系各種建築・土木用材料等

(3)基礎化学品・・・過酸化水素等

(4)アグロサイエンス・・・農薬原体、製剤等

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、
研究受託業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能性色素	機能性樹脂	基礎化学品	アグロ サイエンス	計				
売上高									
(1) 外部顧客に 対する売上高	4,581	6,001	3,460	2,213	16,256	878	17,135	—	17,135
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	77	87	191	—	356	543	900	△900	—
計	4,658	6,089	3,652	2,213	16,613	1,422	18,035	△900	17,135
セグメント利益 又は損失(△)	△506	169	73	121	△141	188	46	13	60

(注1) 各セグメントの主な製品

(1) 機能性色素・・・有機EL材料、トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、各種染料等

(2) 機能性樹脂・・・ウレタン原料、一般化学工業用基礎原料、
ウレタン系及びセメント系各種建築・土木用材料等

(3) 基礎化学品・・・過酸化水素等

(4) アグロサイエンス・・・農薬原体、製剤等

(注2) 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、倉庫業及び貨物運送取扱業、
研究受託業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。